

# KDKニュース

## 国内開拓伝道会 Vol.142

### KDKの3つの原則

1. 開拓伝道であること
2. 教会を建てあげること
3. 聖書信仰に立つ教団・教派との協力

## 巻頭言

### KDK委員

スコット・スミス



「あなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。」

(コロサイ2: 10、15)

### セミナー参加と学び

Hello! 私の名前はスコット・スミスです。KDK委員会の一員であることを光栄に思っています。現在、長野県軽井沢でTEAMに所属し、宣教師として奉仕しています。今年、初めてKDKセミナーに参加しました。徳島や鹿児島教会からの報告に励まされ、スティーブ・ウィーラー先生から「牧師」という言葉の意味や、神が委ねてくださった人々をどのようにケアするかを学びました。また、宣教において大きなビジョンを持つことの重要性、そしてデータに基づいた戦略がその前進に役立つことも教えられました。

### 宣教の問いと福音の勝利

この働きを思い巡らす中で、「伝道とは何か?」「宣教とは何か?」という問いを改めて考えました。宣教師は何をしているのかとよく尋ねられます。答えは「イエスを伝える」「人々を従うよう招く」ですが、もっと深く掘り下げたいと思います。コロサイ2章には、私たちがキリストにあって満たされ、彼がすべての支配と権威のかしらであると記されて

います。さらに彼は支配者を打ち破り、勝利されたとあります。つまり、イエス・キリストはすでに勝利されたのです。死にも打ち勝ち、御国は永遠に支配します。これこそ福音であり、私たちの働きの土台です。

### 宣教の必要性と日本の現状

そうであるならば、なぜ宣教や教会開拓が必要なのでしょう? 答えは「知らせが届いていないから」です。歴史には戦争終結の知らせが届くまで何年もかかった例があります。同じように、世界の半分以上は「イエスが勝利された」ことをまだ知りません。日本ではクリスチャンは人口の1%未満であり、多くの人は一度もクリスチャンに会ったことがないのです。

私たちが会おうまだ神を知らない人々は、御国に入るチャンスがあります。ピリピ3章20節が語るように、私たちの本当の国籍は天にあります。日本やアメリカのパスポートを持っていても、私たちは御国の市民です。イエスは来られます。だから私たちは伝道と宣教を行い、「イエスは勝利された、彼は来られる」と伝えるのです。そして人々もその御国の市民となることができます。

### 勝利を土台にした前進

イエスの勝利を土台に、私たちは自信を持って大きなビジョンを掲げて前進できます。困難や試練があっても、キリストにあって私たちはすでに勝利者なのです。(TEAM宣教師)

スコット先生は、2022年Teamの宣教師として来日しました。現在軽井沢に在住、Team団体内のリーダーシップコーディネーターを担当しています。3人のお子さんがいます。昨年、KDK委員に加わっていただきました。

## 目次

- 1P・・・巻頭言：スコット・スミス師 (KDK委員)
- 2P・・・開拓者の近況：大喜多師、中山師、瓜生師
- 3P・・・KDK開拓伝道セミナー報告
- 4P・・・これからのKDK、冬季特別献金のお願い、事務局お知らせ



### 国内開拓伝道会 (KDK)

発行：2025年12月25日  
 発行：会長 嵐時雄  
 WEB：<http://kdk.asia>  
 振替：00140-6-57493

## 開拓者の近況

### ■保守バプテスト同盟：恵泉キリスト教会

仙南チャペル 大喜多義也・満智子師

ハレルヤ！皆様の日頃の祈りと尊いご支援に感謝いたします。11月に行われたセミナーでも改めて感じたことですが、背後で多くの祈りをもって私たちの働きを支えてくださっている方々がいるということに励まされています。今年のセミナーは一昨年と同じく藤田敦師が講師を担われるということで、前回のセミナーでご指摘いただいたことを思い返しつつの学びとなりました。今回のセミナーでは先生の言葉を借りれば「地味な内容」の基本的な教会論でしたが、教会開拓というと教会の外に目を向けがちのところ、しっかりと教会の内に目を向け教会を建て上げることを学ばせていただきました。そして一昨年前にご指摘いただいた内容についてもより腑に落ちることができました。

12月はクリスマスと皆で喜び祝い、証しする時期であるとともに、新年のビジョンを祈り備える時期でもあります。教会の外への視点と内への視点と学んだことを覚えつつ、祈りと奉仕に励みたいと思います。



### ■日本同盟基督教団 鹿児島いづみ教会

瓜生和彦・園子師

【9月】同盟教団伝道部主催キャラバン伝道で、トラクト配布や子ども会が祝されました。

・小川真師（同盟教団牧師・元KGK主事）をお招きして、初めて九州宣教区青年集会を主催しました。

【10月】日本CCC（キャンパス・クルセード・フォー・クライスト）代表の江淵スタッフが主日礼拝の御奉仕をして下さいました。

【11月】初めて召天者記念礼拝を持ち、多くの未信者の御遺族が来会されました。

・KDKセミナーにて、教会の3つのしるし（みことば・聖礼典・戒規）と、教会が大切にすべき基本的なことを改めて深く学ぶ時となりました。

・小山田格師をお招きし、礼拝と午後の旧約聖書セ



### ■イエス・キリストの群れ：福岡シャインチャーチ 中山有太・あゆみ師

いつもシャインチャーチを覚えてお祈り、またサポートしてくださり、ありがとうございます。

毎月一回行っている木曜礼拝の前に近くの公園でアウトリーチをし始めました。そんな中、アウトリーチで賛美を聞いてくれた方（ベトナム人の姉弟）が礼拝へ来てくれました。その後、中山告先生が弟さんと仲良くなり、相談されることも多くなり、よく祈ってあげていました。様々な事情があり、日本での仕事も見つからず困窮していることを聞き、教会員で食品を集めてプレゼントしました。また仕事も紹介しました。とても感動し、神様に対して少し心を開き始めています。これからも、教会でできるサポートをしながら、福音を伝えていきたいと思えます。

教会員の何人かの意識が自分のための信仰から宣教に向かい始めています。クリスマス礼拝に向けて、積極的に友人を誘って祈って待ち望んでいます。すべては祈りによって始まりました。感謝します。

ミナーで御奉仕下さいました。

【祈禱課題】・クリスマスの諸プログラムが祝された伝道の機会となりますように。

・新会堂取得が目前となりました。必要が満たされ、すべての手続きが順調に進められるように。教会が一つ心で祈りつつ前進できるように。新会堂が鹿児島宣教のために用いられるように。



# 第24回KDK開拓伝道セミナー報告

2025年11月17日から19日、市川クリエイションセンターで開催された第24回KDK開拓伝道セミナーには、全国から教会開拓に情熱を持つ参加者が集いました。主講師に藤田敦先生（日本同盟基督教団 北総大地キリスト教会）を迎え「神のビジョンをともに建て上げる祈りと戦略」をテーマに共に研鑽の時を持ちました。

藤田先生は、「教会の三つのしるし」（みことば・礼典・教会戒規）を軸に、目に見える成果や人数にとらわれず、教会本来の在り方を見失わない開拓の重要性を強調しました。求道者には礼拝への招きと福音の明確な提示、信仰者には教理と実践の教育、他教会員には教会観の一致を目指す教育が必要と語られました。また、洗礼や聖餐は教会として執り行い、教会戒規は秩序と赦しを保つために用いるべきとされました。

このほか、NCDや地域分析などデータドリブンな現代的な宣教手法や種々の具体的な開拓事例も紹介され、参加者同士の交流や個別相談も充実し、教団・教派を超えた協力の意識が高まる実り多い3日間となりました。

(KDK総主事福井誠)



主講師 藤田敦師



ホワイトフィールド理事長  
ウィラー師夫妻

## 【武井俊孝師】

保守バプテスト同盟  
水戸第一聖書バプテスト教会

今回、セミナーに参加し、特に教えられたことは「『どのように』開拓教会をするか」ということよりも「『だれが』開拓教会をするか」ということでした。つまり、教会開拓のリーダーである牧師がどうあらなければならないか、ということです。この点において私は特に、スティーブン・ウィラー先生のバイブルメッセージから、多くのチャレンジをいただきました。

牧師であるあなたは、神が教会に与えられた賜物である。あなたこそがその教会にとっての神学である。神を真似るあなたのことを聖徒は真似て、教会はキリストに似たものとなるのである。これらのメッセージに、牧会者としての責任の重さ、そして、それを与えてくださる主権者なる神さまの素晴らしさを見ることができました。

今回のセミナーにおいて神さまは、私が開拓教会について具体的にあれこれ準備する前に、私のことを、まず牧会者としてふさわしくあるようにお取り扱いくださいました。セミナーが神さまの恵みに満ちあふれていたゆえんです。



## 【野口一郎師】

日本アッセンブリーズオブゴッド教団  
大津キリスト教会

「もしも私がもう一度開拓伝道を始めることができたなら」と思うと、30年以上前に開拓に携わったことがありましたが、「さて、どうしたものか」と私は戸惑ってしまいます。それで、福井誠先生にご案内いただいたKDK開拓伝道セミナーに参加させていただきました。

多彩な講義を伺い、開拓を始めた先生がたや豊かな開拓経験をお持ちの方々と交流の機会をもつことができました。「次はそうしよう」と励まされ、「あのときこうすればよかったのか」とちょっと残念に思い、「これは開拓だけでなく、今の教会にとって大事だ」と気づかされました。改めて、目に見える人数に囚われて教会の本質を見失わないようにと思わされました。

今回、私たちの教団からお子さんを含めて10名が参加させていただきました。教団として改めて開拓伝道に取り組もうとしていますので、たいへんよい機会でした。他の教団や団体の開拓伝道スピリットに刺激を受けたこともうれしいことです。

セミナー会場である山崎製パン総合クリエイションセンターは、研修センターらしいシンプルな建物でしたが、そのさっぱり感が心地よく、さらには食事がたいへんおいしかったこと！朝食は絶対、山崎パン！そう決めました。



# KDKのこれからの活動

KDKでは、2024年8月より紙面をリニューアルし、OBの方々に近況や経験談の寄稿をお願いしています。今後も事務局まで情報をお寄せいただくと大変ありがたいと思います。将来的にはOBの集いの開催も願っており、OBの経験談の共有はKDKの教会開拓支援にとって極めて重要だと考えています。なぜなら、OBの皆さまが現場で直面した課題や失敗、その乗り越え方は、理論や成功事例だけでは得られない実践的な知恵であり、次世代の開拓者にとって現実的な学びと励ましとなるからです。

時代や状況が異なっても、共通する困難や落とし穴を知ることで、同じ失敗を繰り返さず、よりの確かな判断や準備につなげることができます。また、OBの声を集めることは、教会開拓の歴史や多様な歩みを記録し、今後の戦略立案や支援データとしても活用

できます。さらに、現役の開拓者にとっては、先輩方の実体験が大きな励ましや希望となる貴重な機会となります。

経験談を共有いただく方法としては、紙面や会報での定期的な寄稿募集、アンケートや個別インタビューによる体系的なエピソード収集、将来的なOBの集いの開催（直接語り合う場の設置）など、多様な手法が考えられます。これらを組み合わせることで、幅広く継続的にOBの貴重な知恵を集めることができ、KDKの教会開拓支援の基盤がより強固なものとなります。

KDKとしても、OBの経験を最大限に生かし、より実践的で持続可能な支援体制の構築を目指していきたいと考えています。OBの皆さまの歩みや知恵は、これから開拓に取り組む方々にとって大きな財産です。引き続き、事務局まで近況やご経験をお知らせいただけますと幸いです。今後の活動の力となるご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

(KDK総主事福井誠)

## <献金者名> 2025年7月～11月分 (50音順敬称略)

### ○個人

岩井清、神尾鋼行・紀代子、宇山誉、匿名

### ○教会・団体

旭川神愛キリスト教、池の上キリスト教会OCC市川チャペル、美しが丘グリーンチャペル、浦佐キリスト教会、栄光キリスト教会、刈谷知立キリスト教会、国分寺バプテスト教会、城山キリスト教、鳥栖曾根崎キリスト教会、日本長老教会、日本同盟基督教団、拜島バプテスト教会、松見ヶ丘キリスト教会、八千代キリスト教会



## 冬期献金のお願い

今年もKDK国内開拓伝道会の働きを覚えて、お祈りとご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今の時代、開拓伝道の働きには強い向かい風が吹いているように思います。しかしそのような状況の中でもコツコツとみことばを宣べ伝えている開拓伝道者は少なくありません。それは、日本には未だ福音の伝えられていない地が、まだまだあるからです。KDKはそのような伝道者をこれからもサポートし続けたいと思っています。この働きをこれからも継続し発展させて行くために、皆さまの篤いお祈りとご支援を宜しくお願い致します (KDK会長嵐時雄)。

## 開拓サポート申請及び受給資格

1. 教会形成を目指す開拓伝道であること
2. 福音的な教団教派の協力のもとでなされる開拓伝道であること
3. 開拓期再開拓を含む)の教会であること

## 支援年数及び給付額 (月額)

1年目・120,000円	5年目・60,000円
2年目・105,000円	6年目・45,000円
3年目・90,000円	7年目・30,000円
4年目・75,000円	(7年目で終了)

\*2027年度開始分の申請書提出期限は、2026年6月20日です(必着)。書類の提出をもって正式な申込みとし、期日を過ぎたものは受け付けていません。

## 2027年サポート受給者募集 (申請手続き)

KDKは、以下のように、2027年4月サポート開始分の開拓サポートの受付を行います。必ず申請用紙を事務局にご請求の上、KDK所定の申請書類を提出してください。

お問い合わせ先  
国内開拓伝道会事務局 岸尾 光  
〒352-0011  
埼玉県新座市野火止4丁目8-28  
新座志木バプテスト教会  
☎ 090-2567-0457  
✉ nsbc@church.ne.jp  
WEB <https://kdk.asia>

